

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507292(P2005-507292A)
 【公表日】平成17年3月17日(2005.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報2005-011
 【出願番号】特願2003-539785(P2003-539785)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 22/08 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 22/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの足の間中部に接触する第1の面と、床面に接触する第2の面とを有する固体又は中空の本体を含む運動装置であって、

該装置の外形は、略対称の楕円、非対称の楕円、卵形、前記第1の面及び前記第2の面が曲線を描く長楕円形、又は前記第1の面及び前記第2の面が曲線を描く縁が丸められた多角形に対応し、

前記第1の面及び前記第2の面は、前記第2の面を、床面上で揺り動かすことによって、前記第1の面の少なくとも一部が、前記床面に対し上がることを特徴とする、装置。

【請求項2】

前記装置の前記断面は、 20° 乃至 60° の楕円又は楕円体、好適には、 $35-40^{\circ}$ の楕円又は楕円体に対応する請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記装置の足に接触する領域の断面は、最大寸法と最小寸法を有し、

前記最小寸法と前記最大寸法との割合は、 $1.0:1.05$ 、好適には $1.0:1.15$ 乃至 $1.0:2.0$ 、より好適には $1.0:1.2$ 乃至 $1.0:1.9$ 、最も好適には $1.0:1.4$ 乃至 $1.0:1.8$ の範囲内である請求項1又は2記載の装置。

【請求項4】

着脱可能に互いに固定され得る2つの半体を含む請求項1乃至3のうちいずれか一項記載の装置。

【請求項5】

中空であり、前記本体の少なくとも1つの端用の着脱可能な蓋手段を有する請求項1乃至4のうちいずれか一項記載の装置。

【請求項6】

DVTの発生を低減するために足及び脚を運動させる方法であって、

請求項1乃至5のうちいずれか一項記載の装置を、前記足の間中部と床面との間に配置する段階と、

前記足及び前記装置を前後方向に揺り動かすか又は振動させる段階と、を含む方法。